

第1弾



日本刀の最高傑作「童子切安綱」を生んだ伯耆国

伯耆国「大山開山1300年祭」

伯耆国「大山開山1300年祭」のテーマのひとつでもある「日本刀」。平成30年には、刀工「安綱」のふるさと“伯耆国”を中心に鳥取県内で数々の刀剣展を開催し、日本刀の魅力や大山圏域の歴史・文化を発信します。

平成30年度人文部門常設展示コレクション展

「刀剣爛漫 ～県博の赤羽刀と新収蔵刀～」

2018年 4/14[土] ▶ 5/27[日]

会場 / 鳥取県立博物館 美術常設展示室
(鳥取市東町2丁目124番地 TEL 0857-26-8041)

主催 / 鳥取県立博物館

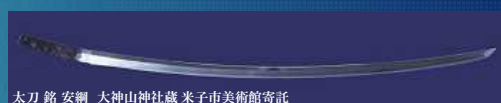
伯耆国「大山開山1300年祭」特別企画
平成30年度米子市美術館特別共催展

「大山山麓の至宝」～「大山」ゆかりの刀を中心に～

2018年 7/29[日] ▶ 8/26[日]

会場 / 米子市美術館
(米子市中町12番地 TEL 0859-34-2424)

主催 / 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会・米子市
米子市教育委員会・(一財)米子市文化財団 米子市美術館



太刀 銘 安綱 大神山神社蔵 米子市美術館寄託

「鳥取県の郷土刀」

2018年 8/4[土] ▶ 26[日]

会場 / 倉吉博物館
(倉吉市仲ノ町3445-8 TEL 0858-22-4409)

主催 / 倉吉博物館

(特別展) 大山開山1300年祭

「名刀展 ～森井父子三人の仕事～」

～研師 偲訓、鐵太郎 / 鞘師 敦央～

2018年 11/2[金] ▶ 12/2[日]

会場 / 日南町美術館
(日野郡日南町霞785 TEL 0859-77-1113)

主催 / 日南町美術館

伯耆国と“日本刀”

中国山地の“良質な鋼”、大山山麓の“豊富な水、木炭”

鍛刀地としての絶好な条件

「伯耆安綱」といった名工と呼ばれる刀鍛冶集団の形成

伯耆国「大山開山1300年祭」「大山」の恵みを感じるプロジェクトでは
「日本刀」「たたら」をテーマに大山の歴史・文化を発信

「伯耆安綱」と国宝「童子切安綱」

日本刀最高傑作と言われる国宝「太刀 銘 安綱」(名物 童子切安綱(どうじぎりやすつな))
は、平安時代を代表する「伯耆安綱(やすつな)」という伯耆国の刀工により製作された。

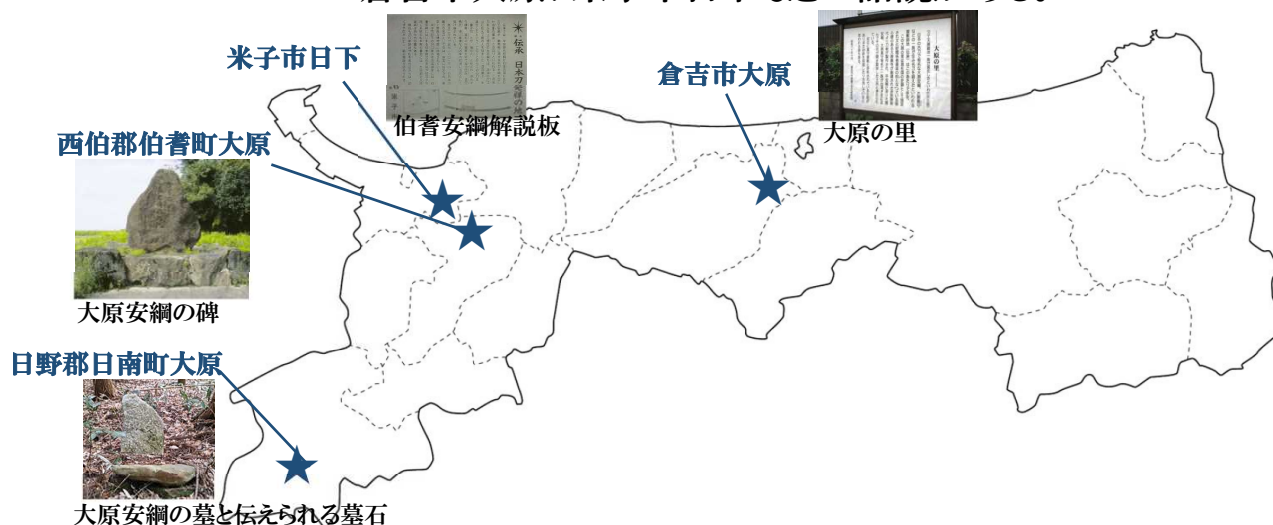
「伯耆安綱」は、現在の日本刀の特徴でもある「反り」のある日本刀では、
日本最古級の名匠と知られており、個人名が確認されている中では
我が国最古級の刀工と言われている。

童子切は天下五剣(※)の一つの名刀で、源頼光が丹波国大江山に住み着いた
鬼・酒吞童子(しゅてんどうじ)をこの太刀で退治したという伝承から「童子切」の名が
ついたと言われている。

(※)数ある日本刀の中で、室町時代頃により、特に名刀と言われた5振りの総称

「伯耆安綱」ゆかりの地

安綱は伯耆国大原出身と言われているが、現在の伯耆町大原、日南町大原、
倉吉市大原、米子市日下などの諸説がある。



伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会事務局
(鳥取県西部総合事務所地域振興局西部観光商工課大山振興室内)
683-0054 鳥取県米子市糺町1-160

TEL(0859)31-9363 FAX(0859)31-9368
公式HP <http://www.daisen1300.org/>

